

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	図書館	内線等	3402
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	図書館資料の購入等収集事業		
根拠法令等	蒲郡市立図書館の設置及び管理に関する条例	A法令	Ⓑ条例	C規則	Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	図書館利用者に対して
手 段	図書館資料を収集することにより
想定する成果	読書・学習・研究活動等の資料の提供をする。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
購入冊数	16,815冊	15,480冊	15,000冊
寄贈冊数	1,833冊	2,466冊	2,000冊
受入冊数合計	18,648冊	17,946冊	17,000冊

成果指標

成果指標名	登録者一人あたりの受入冊数	登録者一人あたりの貸出冊数
成果指標の説明	年間受入冊数 / 登録者数	年間貸出冊数 / 登録者数

事業の進捗状況（一般会計）

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	0.49冊
	実績	0.56冊	0.52冊	-
成果指標	計画	-	-	12.14冊
	実績	12.57冊	12.25冊	-
事業費	事業費	25,173	26,270	22,731
	人件費	8,044	7,784	7,889
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	33,217	34,054	30,620
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	33,217	34,054	30,620

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	市民の多様な要求に応えるため努力しているが、今後さらに分室等の充実を図り、利用者の利便を図る必要がある。
経済効率性	2	3	2	3	一般本から児童本まで少ない経費で多くの市民に応えた資料収集をしている。
事務効率性	3	3	2	3	インターネットで資料・書誌データの購入をし、迅速な対応に努めている。
必要性	3	3	2	3	市民の読書・学習意欲に応えるべく更なる資料の整備・充実が必要である。
小計	10	11	8	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	利用者のリクエスト等の要望にも応えた資料収集を行って、市民に愛され親しまれる図書館の運営を行う。
合計	13	11	11	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	B	A	市民の図書館として、多くの市民に利用され利用率・貸出冊数も増加している。
------	---	---	---	---	--------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
利用者の図書館資料のリクエストに出来る限り応えた。 平成14年度からインターネットのホームページより、図書館資料有無の確認が出来るようにした。	

今後改善すべき点

図書館施設の老朽化、手狭さに対する市民からの要望・苦情が多々だされている。今後抜本的な改善が必要となる。 インターネットのホームページより、リクエストの受付も出来るようにしたい。
--

平成20年度予算に反映する項目

平成21年度での指定管理制度導入に先立ち、事業の継続性を確保した蔵書構築ができるようにしたい。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	図書館	内線等	3402
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	図書館資料の相互貸借及び県図書通函事業				
根拠法令等	図書館法		A法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	図書館資料の利用者に対し
手 段	他市町村図書館・県図書館との相互貸借を実施することにより
想定する成果	利用者に必要な図書館資料の提供をする。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
他館から借用冊数	466冊	485冊	500冊
他館へ貸出し冊数	507冊	618冊	650冊
相互貸借件数	973冊	1,103冊	1,150冊

成果指標

成果指標名	相互貸借による貸出率	借用冊数増加率
成果指標の説明	他館からの借用冊数 / 図書館資料貸出し総数 × 100	$\frac{(\text{当年度借用冊数} - \text{前年度借用冊数})}{\text{前年度借用冊数}} \times 100$

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	0.1%
	実績	0.1%	0.1%	-
成果指標	計画	-	-	3.1%
	実績	35.8%	4.1%	-
事業費	事業費	459	465	465
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	2,068	2,022	2,043
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,068	2,022	2,043

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	2	2	2	リクエストの要望にほぼ応えている。
経済効率性	3	3	3	3	県通函を通じ、相互貸借で費用を掛けずに行っている。
事務効率性	2	3	2	3	ファックスで申込み・受付をしており効率性は良いが、梱包作業に手間がかかる。
必要性	3	3	3	3	市民サービスとして必要な事業である。
小計	11	11	10	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	利用者の「知る権利」を手助けする大切な事業である。
合計	14	11	13	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	市民のリクエストに応えるためには大切な事業である。
------	---	---	---	---	---------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成6年度から図書館相互の受付をファックスで対応することとし、よりスピーディーに行えるようになった。また、県通函だけでなく、平成14年度から宝飯地区図書館のネットワーク図書配送に関する協定書を結び、近隣市町との相互貸借の利便性向上を図った。	

今後改善すべき点

相互貸借の利用が今後増大すると、図書館資料の梱包作業の時間が長くなり、負担がより大きくなると考えられるため、簡単に梱包が出来る方法を県全体で考えていく必要がある。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	図書館	内線等	3402
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	文学講座・読書会・夏休み教室の開催事業				
根拠法令等	蒲郡市立図書館の設置及び管理に関する条例	A 法令	<input checked="" type="checkbox"/> B 条例	C 規則	D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民に対して
手 段	文学講座・読書会・夏休み教室を開催することにより
想定する成果	生涯学習の機会を提供する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
文学講座	(定員100名) 1回 46人	(定員100名) 1回 47人	(定員100名) 1回 60人
夏休み教室	(定員40名) 1回 37人	(定員40名) 1回 11人	(定員40名) 1回 35人
読書会	42回 270人	42回 272人	42回 270人

成果指標

成果指標名	文学講座・夏休み教室参加率	読書会登録者数
成果指標の説明	参加者数 / 定員参加者数 × 100	読書会登録者数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	67.9%
	実績	59.3%	41.4%	-
成果指標	計画	-	-	53人
	実績	59人	58人	-
事業費	事業費	52	56	67
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,661	1,613	1,645
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,661	1,613	1,645

事務事業内容の評価

項 目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	1	2	計画通り実施されているが、参加者の数が予想を下回っている。
経済効率性	2	2	2	2	必要最小限の経費で実施している。
事務効率性	2	2	2	2	少ない人数で対応しており効率的に行っている
必要性	3	2	3	2	生涯学習の場の提供及び、自主的な読書会活動を推進していく上で必要な事業である。
小 計	9	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	文学講座・夏休み教室は毎回多様な講師の協力を得て開催している、又読書会は読書グループの自主的な開催で継続して行われている。
合 計	11	8	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	市民の学習活動の手助け又、読書活動の機会を提供する大事な事業である。
------	---	---	---	---	------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改 善 等 事 項	経費の縮減額

今後改善すべき点

魅力ある講師の充実を図り、参加者を増やしていきたい。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	図書館	内線等	3402
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	絵手紙大賞・絵手紙の会の開催事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	<input type="radio"/> Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び、全国の絵手紙愛好家に対して
手 段	がまごおり絵手紙大賞の募集・審査・表彰等を行うことにより
想定する成果	絵手紙を通じ心を伝え、あったかコミュニケーションを図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
応募総数	11,295枚	13,860枚	11,000枚
うち市民応募数	4,171枚	4,902枚	4,500枚

成果指標

成果指標名	応募率	市民応募率
成果指標の説明	応募総数 / 応募目標数 × 100	市民応募数 / 応募総数 × 100

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	94.1%	115.5%	-
成果指標	計画	-	-	40.9%
	実績	36.9%	35.4%	-
事業費	事業費	5,095	4,729	4,243
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	6,704	6,286	5,821
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,704	6,286	5,821

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	2	3	2	市内をはじめ全国からの応募があり多くの人に親しまれている。
経済効率性	1	1	1	1	入賞賞品・審査員報償費・ポスター郵送料等多くの経費がかかっている。
事務効率性	1	1	2	1	事務局に、図書館職員が参加しており職員の負担が大きい。
必要性	1	1	1	2	全国的にも多くの絵手紙展の募集が増えてきており、当初の目的は達成された。
小計	6	5	7	6	
施策への貢献度	2	-	2	-	市内の小中学生や市民の応募も多くある。
合計	8	5	9	6	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	C	B	絵手紙活動の当初の目標は、ほぼ達成されたと思われます。13回(平成19年度)をもって開催を終了する予定である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】